

小田真木 平成30年度集落實態調査(まとめ)

小田真木の理想の地域像

- 地域の人たちがみんな助け合える
- 人口がこれ以上減少してない地域
- 小田夏祭りが継続している地域
- 若者、子どもが増えてほしい
- 水稲以外の農作物で収入が増えている
- U・Iターンでも農業の後継者がいる地域

理想の地域に近付くために必要な取組み

～つながりづくり～

- ・組織づくり リーダーの育成、後継者の育成
- ・自治振興協議会の強化(若者会、女子会)
- ・気軽に集まれる場所の活用
- ・多世代で交流をする
- ・各自治会で毎月1回は必ず集まる
- ・自主的なグループが呼びかけて集いの場づくり
- ・月に1回居酒屋をひらく
- ・みんなで旅行に行く

～子どもを増やすためには～

- ・ホストファミリーを通じて地域との交流
- ・U・Iターンしやすい環境づくり

～高齢になっても安心して健康で暮らせるように～

- ・スノーレンジャーのような仕組み
- ・長生き体操
- ・高齢になっても仕事がある
- ・自分で出来ることは自分でする
- ・自主防災組織の立ち上げ
- ・隣近所の見守り活動

～地域をPRするためには～

- ・地域の情報発信(SNS、Facebookなど)
- ・ホームページ作成
- ・小田真木FM局 立ち上げ
- ・小田真木入り口の看板の整備

～U・Iターン～

- ・家を出た人が帰ってきやすい雰囲気づくり
- ・Iターンが来やすい環境づくり
- ・定住住宅をつくる(行政)
- ・小田真木の看板の整備、新規作成
- ・米を中心に地域のPRをする

～農業を維持するために～

- ・強い農業組織→ベテランの生きがいになる
- ・地区外から新規就農者を呼びこむ
- ・米を中心に地域の情報をPR

～収入を上げるために～

- ・米をブランド化する

すぐにでも出来そうなこと

- ・定期的集まって話ができる場づくり
- ・気軽に集まれる施設を活用する
- ・長生き体操の継続
- ・自主防災組織の立ち上げ
- ・見守り活動の立ち上げ
- ・自分の出来ることは積極的にする(参加など)
- ・ホストファミリーを通じて地域との交流を広げる

- ・スノーレンジャー(除雪)
- ・月に一度小田真木に居酒屋開設
- ・SNSで発信
- ・皆で旅行(地区の親睦旅行)
- ・異世代間のつながりづくり

- ・顔を合わせる機会(できそうでできない?)
- ・お互いを理解する気持ちを皆がもつ
- ・自分の家のことだけを考えずに協力する気持ちをもつ
- ・各家の後継者がいること(すべてでなくても)
- ・U・Iターンがしやすい環境づくり
- ・地区外から若い就農者を呼び込む
- ・自治振興協議会の強化(女子会、若者会)
- ・強い農業組織→ベテランの生きがい
- ・生計を立てれる仕事づくり

時間がかかりそうなこと

おだまき

小田真木



小田真木は、 明るい未来を目指していきます！

小田真木は10年後も安心して暮らせる地域を
目指してがんばります！

～つながりづくり～

- ・組織づくり リーダーの育成、後継者の育成
- ・気軽に集まれる場所の活用、整備(回想館)
- ・各自治会で毎月1回は必ず集まる
- ・自主的なグループが呼びかけて集いの場づくり
(親睦旅行、居酒屋の開催など)



～高齢になっても安心して暮らせるように～

- ・スノーレンジャーのような仕組みづくり
- ・長生き体操
- ・自主防災組織の立ち上げ
- ・隣近所の見守り活動

～地域をPRするためには～

- ・地域の情報発信(SNS、Facebook、ホームページ、FM局など)
- ・小田真木入り口の看板の整備
- ・景色のいい高台でイベント開催
- ・大根の収穫まつり(体験農園の立ち上げ)



小田真木の
目標

**地域のつながりを大切に、みんなで助け合える小田真木
地域の伝統行事・文化・美しい風景を守り、継承していく小田真木
営農組織など各団体や活動グループが一体となった地域づくり**



～U・Iターンしてくる人のために～

- ・家を出た人が帰ってきやすい雰囲気
- ・Iターンが来やすい環境づくり
- ・米を中心に地域のPRをする
- ・定住住宅の整備

～子どもを増やすためには～

- ・ホストファミリーを通じて地域との交流
- ・U・Iターンしやすい環境づくり

～農業を維持するために～

- ・強い営農組織→ベテランの生きがいになる
- ・地区外から新規就農者を呼びこむ
- ・米を中心に地域の情報をPR

